



STU48が1日運輸局長として船の安全点検を実施

令和2年度年末年始の輸送等に関する安全総点検

帰省等で人や物の動きが大幅に増加する年末年始の飛行機、鉄道、自動車、そして船などの輸送機関における安全を確保するため、国土交通省では、毎年12月10日から1月10日までの期間「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施しています。輸送事業者自身に自主点検を促し、安全の取組を再確認いただくとともに、運輸局の担当官が立入り、安全対策などが適切に行われているか点検します。中国運輸局では、従来から船の分野では海上保安部と協力しながら安全総点検を実施しています。

令和2年度の安全総点検初日に当たる12月10日（木）、新ターミナルや棧橋の使用が始まってから初めての年末年始を迎える宮島口棧橋において、第六管区海上保安本部と連携して、安全総点検の開始式及び宮島航路を運航しているJR西日本宮島フェリー（株）のフェリー「ななうら丸」、宮島松大汽船（株）のフェリー「安芸」への乗船点検を実施しました。なお今回は、STU48の矢野帆夏さんには1日中国運輸局長に、石田千穂さんには1日第六管区海上保安本部長として、開始式とともに実際の点検に参加していただきました。



矢野さんへ1日運輸局長任命書の交付



矢野1日運輸局長と石田1日本部長の号令で点検開始!!

船舶を始め、飛行機、鉄道、自動車など全ての輸送機関において、安全運航（運行）は最も優先されなければならない最重要課題です。また、万が一にも事故が起きてしまった場合に備えて、被害を最小限に抑えるために、日頃から対応訓練などの対策を行っておくことも必要です。

STU48のお二人には、運輸局の担当官と乗船点検に参加していただき、乗客へ安全周知の船内放送を行っていただいた後、事業者が日頃から実施している安全運航の取組み、非常時に対処するための訓練の実施状況について、運航担当者から聞き取り等を行い、しっかり実施されていることを確認しました。

続いて、船に備え置くことが決められている救命胴衣などの救命設備が、適切に使用できるように維持・管理されているかについても点検しました。



救命胴衣の点検と着用体験
(石田1日本部長・矢野1日運輸局長)



担当官より点検の全体報告を受ける
運輸局長と矢野1日運輸局長

また、安全運航と並ぶ重要な課題として、新型コロナウイルスなどの感染症拡大防止対策があります。中国地方には多くの旅客船航路がありますが、離島と本土を結ぶ唯一の交通手段である航路が多く、万が一、感染症の発生により船の運航ができなくなれば、住民の生活に大きな影響が出ます。そこで、今回は感染症拡大防止対策についても重点的に確認を行い、事業者による船内消毒の実施、客室の換気の徹底などの対策が、しっかりと取られているかについても点検しました。

STU48は瀬戸内を拠点に、「一つの海、7つの県」をコンセプトとして活躍されており、国土交通省が実施している海事振興プロジェクトである「C to Seaプロジェクト」のアンバサダーを務めていただくなど、非常に海との関わりの深いグループです。

今回、矢野さんと石田さんには、普段では体験できない運輸局や運航事業者の安全への取組を知っていただくことができました。お二人には、体験していただいた運輸局による点検や、事業者の感染症拡大防止等の安全対策の取組を、大きな発信力で多くの方に広めていただくことを期待しています。

なお、昨今の新型コロナウイルスなどの感染症拡大対策が課題となっている状況を踏まえ、開始式と安全点検では参加者数を大幅に縮小し、マスクの着用や消毒の徹底等、対策に十分配慮して実施しました。



1日運輸局長、1日本部長 お疲れ様でした！

Chugoku District Transport Bureau

お問い合わせは 中国運輸局 海上安全環境部まで

TEL：082-228-8708